

令和6年2月21日

和歌山県立医科大学附属病院長候補者の選考結果について

和歌山県立医科大学附属病院長候補者選考委員会
委員長 稲葉 信

公立大学法人和歌山県立医科大学部局長等選考規程第7条の規定に基づき、次期附属病院長を選考したので、下記のとおり公表する。

記

1 次期附属病院長

- (1) 氏名 西村 好晴 (にしむら よしはる)
- (2) 年齢 62歳 (令和6年4月1日時点)
- (3) 現在の職 地域・国際貢献推進本部長
外科学第一講座教授

2 任期 令和6年4月1日～令和9年3月31日

3 選考過程

- ・令和5年 7月26日 第1回選考委員会
選考スケジュール、選考基準等の検討
- ・令和5年 9月13日 第2回選考委員会
選考基準、選考公示等の決定
- ・令和5年10月16日 病院長候補者選考の公示
- ・令和5年10月16日 院長候補者の届出受付期間
～10月20日 2名の届出受理
- ・令和5年10月24日 教育研究審議会
病院長候補者選考委員会委員の補充
- ・令和5年11月20日 第3回選考委員会
届出書類の確認、所信表明演説会質問検討
- ・令和5年12月 4日 所信表明演説会
- ・令和5年12月20日 第4回選考委員会
面接審査の実施
- ・令和6年 1月16日 第5回選考委員会
最終候補者の決定

4 選考理由

附属病院長候補者選考委員会は、附属病院長候補者選考規程に基づき、選考基準である「附属病院長の資質及び能力に関する基準」を定め、候補者が次期附属病院長としての適性を有するか、所信表明演説会や面接審査等を通じて総合的に検討を行った。

西村好晴氏は、平成28年6月に外科学第一講座教授に就任し、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科の3部門からなる講座の責任者として、優れた臨床医を多数輩出してきた。また、重症救急患者の救命や地域医療の堅持に真摯に臨む姿勢は高く評価され、学内外の信頼も厚い。

まず、同氏は、日本医療安全学会の高度医療安全推進者資格を有し、医療事故調査・支援センターの個別調査部会長としても活動するなど、科学的な医療安全の実践及び指導経験が豊富である。患者、家族目線での医療事故調査の必要性や、医療安全を学ぶ職員のサポート体制に言及するなど、医療安全文化の醸成に取り組む強い決意を示した。

次に、管理運営上、喫緊の課題である経営改善については、詳細なデータをを用いた現状分析を行い、ベンチマークを活用した支出の抑制や画像診断管理加算の取得に向けた体制整備などの具体策を提示した。看護師不足の現状にも強い危機感を示し、副師長会の設置などによる、働きがいのある職場環境の実現を目指すとした。さらに、メディカルスタッフとの定期的な意見交換の場を設け、課題解決に取り組む姿勢を示したことから、多職種連携を礎とした円滑な病院運営が期待できる。

最後に、当院の理念である、質の高い医療の提供や地域の保健医療の向上のため、院内の取組として、働き方改革におけるタスクシフトの検証や、研究活性化に向けた重点診療領域のセンター化、診療参加型実習への対応など臨床実習の充実などに取り組む意向を示した。また、深刻な地域の医師不足については、医師適正配置検討委員会の機能強化など、より一層、地域の実情を把握して医師派遣の在り方を考えるための方策を提示した。

以上より、本委員会として、選考基準に照らし上記の点が評価できることから、西村好晴氏が適任であると判断し、同氏を附属病院長候補者として選考した。